

月日 (校時)	単元名	教材名
5月15日 (金) 2校時	図を使って考えよう	ちがいに目をつけて
本時のねらい (1/2時間) ○図に表して問題を解決することを通して、図のよさに気づくとともに、問題を解決することができる。		
評価規準 【考】 分配や移動を伴う2量の差に着目して、言葉や図、式を用いて説明している。(発言・ノート・観察)		
学習課程	学習活動 (○発問・予想される児童の反応)	留意事項・評価
【導入】 問題提示 9:30	1 問題を読み、題意をとらえる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> こうたさんとりこさんは、60まいの色紙を2人で分けて、つるをおります。りこさんのまい数の方が、12まい多くなるようにします。それぞれの色紙のまい数は何まいになりますか。 </div> ○分かっていることと気がついていることを確認しましょう。 ○気がついたことや、今までの学習から解き方の見通しを立てましょう。 <ul style="list-style-type: none"> ・図に表して考えると、まい数のちがいが分かりやすそうです。 ・2人のまい数のちがいが12なので、図で表すとりこさんの方が長くなります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今までの学習を想起させ、課題解決の見通しを持ちやすくする。
【展開】 9:35 課題把握 ・シラバス ・言語わざ 問いの共有 9:40 解決活動 ・一人学び ・ペア学び 9:45 集団解決 ・学び合い 9:50 ・考察 10:00 まとめ	2 課題を把握する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> それぞれのまい数を求める方法について、図を使って考え、説明しよう。 (一人・ペア学び (5分)・学び合い (15分)・まとめ (5分) 適応問題 (5分)・振り返り (5分)) </div> 3 図を使って、それぞれのまい数を求める方法を考える。 ○図を手がかりにして、こうたさんとりこさんの色紙のまい数を求める方法を考えましょう。 <ul style="list-style-type: none"> ①ちがいの12まいをひいて、2等分する。 $60 - 12 = 48$ $48 \div 2 = 24$ こうたさん24まい $24 + 12 = 36$ りこさん36まい ②ちがいの12まいを足して、2等分する。 $60 + 12 = 72$ $72 \div 2 = 36$ りこさん36まい $36 - 12 = 24$ こうたさん24まい ③2等分してから、ちがいを12まいにする。 $60 \div 2 = 30$ $30 + 12 = 48$ りこさん48まい $30 - 12 = 18$ こうたさん18まい 4 考えたことを出し合い、説明する。 ○出てきた意見で、似ているところを出し合いましょう。 <ul style="list-style-type: none"> ・①は、先に12まいを引いてから2等分していて、②では、反対に12まいを足してから2等分している。2等分するのが同じ。 ・③の考え方は、答えの2人のまい数の差が12ではなくなっているので違う。 ○出た意見から、考察をします。 <ul style="list-style-type: none"> ・ちがいの12まい分を全体から引いたり、足したりしているのでちがいに気をつけて計算することが大切です。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> それぞれのまい数を求める時は、ちがいの12まいに目をつけると計算しやすい。図に表すと、ちがいが分かりやすい。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・全体で図のかき方を確認し、その後の活動にスムーズに入るようにする。 ・図のどこを求めているのかが分かるように考えを書くように声がけを行う。 ・自力解決が終わった児童から、ペア学習に移るように声がけを行う。 <p>【考】 分配や移動を伴う2量の差に着目して、言葉や図、式を用いて説明している。(発言・ノート・観察)</p>
【終末】 10:05 適応問題 10:10 振り返り 10:15	5 問題に取り組む。 ○ちがいに気をつけて、図を書きましょう。 6 学習したことを振り返る。 ・図に表すとちがいが分かりやすかったです。計算をするときは、そのちがいに気をつけて計算することが分かりました。	

